

愛ぐみ そらチーム

クラスだより 6月号

平成 29 年度 おおな愛児保育園



遊び、食事、睡眠などの園生活リズムが安定し、子どもたちの表情に余裕の笑顔が見られ落ち着いてきました。

晴れた日は大好きな戸外遊びを思いっきり楽しんでいました。虫や草花に関心を持ち探索活動を行いながら、「ちょうちょ」「あり」など小さな虫を見つけては追いかけたり観察したり…砂や土をスコップですくってはもぐもぐ食べる真似や、「どうぞ」と友達や保育者にあげたりとままごと遊びを行っていましたよ。



雨上がりの園庭にできた水溜りの傍に座り込み、スコップで繰り返し水や泥をすくってはお皿に入れたりと夢中になってあそんでいましたよ。

今月のわらい

- ・「自分で」という気持ちを大切に、「できた」という満足感を味わうことでやろうという気持ちを育む
- ・歩く、走る、登る、降りるなど戸外や室内で体を十分に動かし遊びを楽しむ

保育内容

走り回るなど力いっぱい全身を動かして遊ぶ行動が増えてくるこの時期。園庭では広い平地を走ったり、でこぼこな地面を歩いたり、小山を登ったり降りたりまた、室内ではソフトブロックのトンネルや凸凹、大型積み木などを使用して繰り返し体を動かす遊びが楽しめるようにしていきたいと思います。

個人面談での日程の調節や 20 日の保育参観・試食会にご参加くださりありがとうございました。普段はゆっくりと話す機会がなく、家庭や園での子どもたちの姿を伝え合うことができ良かったとおもいます。

また、何かありましたらその都度声をかけてくださいね。

今月のわらべうた

- ・つーながれ

積み木を並べたり、チェーンで円をつくる(クレヨンで丸が書けるようになる)

いもむしごころ

ゴロゴロ床に転がったり、玩具を手で転げたりする

唱え

- ・たまげた こまげた

お片づけをしながらかう

子どもが 1 歳半を過ぎたころから「イヤ」「自分で」と主張するようになります。親にとっては悩みがちなイヤイヤ期、でも、イヤイヤは自分の意思を持つようになったという成長のサイン、子供の成長を喜ぶぐらいの気持ちを持ちたいものです。子どものイヤイヤには様々な理由があります。イヤイヤの裏側にある言葉にできない気持ちをくみとってあげるようにしてくださいね。例えばイヤにはこんな理由が…

- ・不快な感覚や不安な気持ち
- ・好きなこと、自分でやりたい
- ・眠い、疲れたなど生理的な理由
- ・イヤをやめるタイミングがつかめない、など



「あおおむし」と指でつついたり、動く様子をジーンと観察していました



保育士が土を掘り返しているとみんなでお手伝い